

教科	技術・家庭科(技術分野)	学年	第 1 学年	技術分野担当	奥田 邦弘
----	--------------	----	--------	--------	-------

【教科目標】

生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

【使用教科書・教材等】

教科書 新編「新しい技術・家庭(技術分野) 東京書籍」

【学習計画】

学期	単元名	学習のねらい(身につけたい力)	準備物
1 学期	技術分野ガイダンス 1編 材料と加工に関する技術 ・製作品の設計・製作 ・製図	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で技術のはたす役割についてわかる。 製作品の用途や使いやすさを考え、機能を考えることができる。 木材の特徴とその活用の仕方がわかる。 工具の基本的な使い方を理解して、構想を元に作品に仕上げることができる。 製作に必要な図を知り、作ろうとする作品の図を正確にかくことができる。 	教科書 ノート ファイル
2 学期	1編 製作品の設計・製作 実習 生活に役立つものづくりをしよう 材料と加工の技術の評価・活用	<ul style="list-style-type: none"> 製作のまとめを作成することができる。 生活に役立つ製作品が設計できる。 製作の作業手順を考えて製作ができる。 実習に係わる基礎技能を身に付けることができる。 材料と加工の技術が社会環境に果たしている役割と影響について理解できる。 	教科書 ノート ファイル
3 学期	4編 情報に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化、データ量、デジタル作品の特徴について理解できる。 情報を安全に利用するために取るべき態度を身に付けている。 デジタル作品を製作することができる。 	教科書 ノート ファイル

【評価の観点と評価の方法】(通知表のつけ方)

評価の観点	生活や技術への関心・意欲・態度 25%	生活を工夫し創造する能力 25%	生活の技能 25%	生活や技術についての知識・理解 25%
評価の観点の趣旨	授業への参加態度・意欲、提出物の内容等、積極的に取り組んでいるか。	生活を振り返りながら課題を見つけ、その課題を解決しようと考え、よりよい方法を工夫しているか。	学習したことに基づき、適切に判断し生活に生かせるよう実践できるか。	学習の内容を整理し、理解しているか。
評価の方法	授業の準備 発表等の授業態度 ノート等提出物の提出状況	授業(実習)の様子 レポート 提出物等	実習の様子 作品 提出物等	定期テスト 提出物等

【授業の受け方・学習のポイント】(担当の先生からのアドバイス)

- ・教科書・ノート・ファイルなど準備物を忘れず、授業に集中できる態勢を自分で作りましょう。
- ・質問や考えたことを積極的に発言し、他の人の意見も大切にしながら授業内容の理解を確かなものにしましょう。
- ・プリントやファイル、作品の提出期限を守りましょう。
- ・ノートはしっかり取り、分かりやすいノートを作りましょう。
- ・プリント等の課題にまじめに取り組みましょう。
- ・基本的な技能を身に付け、工夫して作品が完成できるように実習に根気よく取り組みましょう。

【家庭学習の進め方・学習のポイント】(担当の先生からのアドバイス)

- ・実際に授業で学んだことを、普段の家庭生活の中で工夫し、活かしていけるようにしていきましょう。特に自分から進んで家の人の手伝い等をしていくことが大事です。
- ・環境や最新の技術の話題等に関心を持ったりして、よりよい生活ができるように知識と技を身につけていきましょう。